



20th anniversary
さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり



▲LCLの元気いっぱいのダンスが初日夜のステージを盛り上げました。

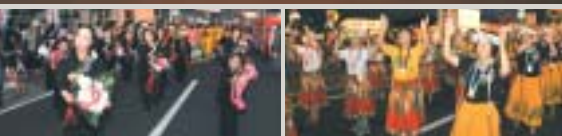
熱く燃えた夏、「きばらん海」
南薩摩最大の夏祭り「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」が8月7・8日、枕崎漁港や市街地で盛大に開催され、2日間で過去最高の延べ14万人の人出でにぎわいました。
初日のメインイベントは総踊り。歩行者天国になった海岸通りで、36団体、約2700人が、浴衣やハッピのほかさまざまな衣装で、枕崎音頭などを楽しく踊りました。
2日目はカッター大会や

大漁みこし、「きばらん海」
のほか、恒例となったFMラジオの公開録音も行われ、ゲストバンドが祭りを盛り上げました。
花火大会では、市民一丸の証となる三尺玉花火が、今年も鮮やかに枕崎の夜空を彩りました。



◀FMラジオの公開録音ではET-KINGが大勢の観客を沸かせました。

枕崎の夜空に咲いた三尺玉花火



▲2日目、第2ステージで行われた漁翁来港5周年記念イベントでは、ゲストの参加もあり大いに盛り上がりました。

▲大漁みこしには子どもから大人まで多くの人々が参加しました。



▲3年目となった浴衣の着付けは今年も大好評でした。 ▲ひろえば街が好きになる運動では高校生が大活躍しました。



海の神と山の神
二つの御神体が登場
祭りのほじまりだ



▲踊り連新曲コンテスト。来年からすんくじらブラザーズバンドの「きばらん海」が踊り連の曲に加わります。